

企業・県民向けSDGsセミナーで寄せられたご質問とご回答

(株)ウィザップ様へのご質問とご回答

Q 1 太陽光発電導入には初期投資の手間や金額面でのハードルが高いと思われるが、導入に至った背景についても知りたい。

A 1 SDGsとしての取り組みとしても太陽光発電を導入しましたが、一番はコスト削減効果に期待して導入しています。太陽光発電の初期投資に関してハードルが高いのはもちろんですが、今後を見据えて発電によって得られる費用対効果と減価償却を比較してコストメリットがあったからこそ導入しました。ちょうど世界情勢の変化で電気代が上がってきたタイミングもあり、コストメリットは導入当時の予測よりも大きくなっていると感じています。

Q 2 他企業のモデルケースになるような取り組みでした。なぜ率先して取り組んだのかお聞きしたい。

A 2 CSR活動というものの自体が中小企業としてなかなか難しい弊社でしたが、SDGsの項目をよく見ると実は普段会社でやっている何気ない活動がSDGsの項目に貢献しているという事が分かり、ホームページを通じて弊社のSDGsの取り組みとして発信しています。よって、率先して取り組んだというよりは当たり前のようにやっていたことを再認識し、結果SDGsに貢献しているという事になりました。もちろん、それをきっかけに会社内でSDGsを意識した取り組みを推進していく事にはなっています。また、これらのSDGsに関する取り組みは弊社社長発信によるトップダウンで実施しています。

(一社) サステナビリティデータ標準化機構様へのご質問とご回答

Q 3 ツールを使用して出た評価の信頼性についてお聞きしたかったです。

A 3 弊社のツールを活用したスコアリングは、上場企業約3,600社、非上場企業約1,800社のデータを基に、弊社独自のメソドロジーを用いて算出しております。なお、スコアリングに使用するデータは、各企業様にご入力いただいた情報をそのまま活用しており、弊社においてその内容の検証や保証は行っておりません。

Q 4 全国の多くの金融機関がメンバーというような話でしたが、金融機関がESG評価をする際、このツールを使うと考えてよいでしょうか？

A 4 「金融機関がメンバーになっている」という点についてですが、こちらは弊社ではなく、(一社)サステナビリティデータ標準化機構(SDSC)のメンバーになっていることを指しております。弊社とSDSCは別の組織であるため、SDSCのメンバーである金融機関が必ずしも弊社のツールを使用しているわけではございません。

以上